

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	病院跡地活用事業	部局名	企画部
		課(室)名	政策企画課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成29年度 ～ 平成31年度
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	公共施設の老朽化対応と総量の抑制が求められる一方で、少子高齢化に伴う医療介護の需要は増加するとともに、子育て世代に選ばれる施策の展開が必要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	●加古川東市民病院跡地活用計画に基づき、市民にとって最も有用な病院跡地活用を図る。 ●加古川西市民病院跡地の譲渡契約に基づき、原因者として適切な負担を図る。
対象 ※誰、何に対して	●加古川市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	●加古川東市民病院跡地について既存施設の解体や施設整備の事業者を公募・選定する。 ●回復期病院等を整備する民間事業者に対して、加古川西市民病院跡地の土壌汚染対策費用等について協議する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	324,978 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	3,950 千円
	地方債	278,200 千円
	その他特財	千円
	一般財源	42,828 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	07 企画費
細目	045 病院跡地活用事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	324,978 千円	43,836 千円	48,473 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	西市民病院跡地については、民間事業者において、平成30年4月に回復期病院、平成30年9月に特別養護老人ホームが整備された。また、東市民病院跡地については、旧施設の解体を予定どおり進めるとともに、跡地整備に係る事業者の選定を予定どおり進めた。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	病院跡地活用事業	部局名	企画部
		課(室)名	政策企画課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市人口（4/1付推計人口）	人	262,467	263,954	
加古川東市民病院跡地	施設	1	1	
加古川西市民病院跡地	施設	1	1	

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川東市民病院跡地解体進捗率	%	87	15	
活動指標分析結果	平成29年度から平成31年度にかけて解体作業を予定しており、平成30年度末時点においては、概ね順調に解体作業を進めることができた。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
市民満足度の向上	%	55.4	52.5		平成32年度	53
成果指標分析結果	市民満足度における「安心できる医療体制に関して満足している市民の割合」は、平成28年度調査（54.3%）、平成29年度調査（52.5%）と比べて上昇しており、一定の満足度を計ることができた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	救急医療事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和39年度 ～ 永年
事業区分	④義務的施策事業
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	休日の一次救急については、継続して体制支援を行っているが、小児電話相談のPR等により、小さな子を持つ親の不安軽減や医師の負担軽減を図る必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	一次救急医療体制の構築による安心のまちづくりを推進する
対象 ※誰、何に対して	休日及び夜間帯に容態が悪くなり、救急処置の必要がある住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	休日の一次救急を実施するため、加古川医師会及び各医療機関等の協力のもと、輪番制等による体制を支援する。また、小児を対象とする夜間帯の電話相談については、関係団体とともに実施する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	18,364 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	163 千円
	一般財源	18,201 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	015 救急医療事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	18,364 千円	18,251 千円	18,282 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	救急医療事業は生命を守る重要な事業であり、現行の水準を維持しながら、事業を継続していくべきであると考えますが、地域の医師が高齢化かつ減少するなかで、一次救急の定点化や電話相談事業の利用率向上など、より事業が充実するよう、手段等を検討する必要があります。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	救急医療事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	(公財) 東播臨海救急医療協会 補助事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和55年度 ~ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成18年度から指定管理者制度を導入し、東播臨海救急医療協会を指定管理者とし、運営を委託している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川夜間急病センターを管理及び運営する協会の運営を安定化させ、夜間帯における救急医療体制の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川夜間急病センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の夜間帯における一次救急及び二次救急を円滑に行うため、加古川夜間急病センターの管理及び運営に要する職員人件費を補助する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	169,730 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	169,730 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	12 夜間急病医療事業特別会計
款	01 夜間急病医療事業費
項	01 夜間急病医療事業費
目	01 夜間急病医療事業費
細目	015 (公財) 東播臨海救急医療協会補助事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	169,730 千円	175,608 千円	172,268 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	夜間帯における救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、加古川夜間急病センターを管理、運営する上で必要となる職員人件費を補助することは、医療提供体制の安定化のため行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	(公財) 東播臨海救急医療協会 補助事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町の人口 (10/1付住民基本台帳人口)	人	423,004	425,384	427,921

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
東播臨海救急医療協会補助費	千円	169,730	175,608	172,268
活動指標分析結果	人件費の自然増はあるものの、当年度は年度早々に職員1名が退職したため、前年度から減少している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
夜間急病センター診療日数	日	365	365	365	平成32年度	365
成果指標分析結果	一年を通じて夜間急病センターの診療を実施できたことで夜間帯における救急医療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター管理運営事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成7年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川歯科保健センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	設立から20年が経過しており、施設や備品の老朽化による修繕が増加傾向にある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川歯科保健センターの健全な運営を支援し、口腔衛生の向上と、休日及び障がい者診療の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川歯科保健センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	休日及び障がい者診療を円滑に行うため、加古川歯科保健協会に対し、加古川歯科保健センターの管理及び運営に対する業務委託を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	83,138 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	83,138 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	13 歯科保健センター事業特別会計
款	01 歯科保健センター事業費
項	01 歯科保健センター事業費
目	01 歯科保健センター事業費
細目	010 歯科保健センター事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	83,138 千円	76,270 千円	76,411 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	休日における救急医療体制や障がい者診療の支援は、必要不可欠なものであり、また、加古川歯科保健センターの管理、運営については、高砂市、稲美町、播磨町から事務委託を加古川市は受けているため、事業の実施は妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター管理運営事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町の人口 (10/1付住民基本台帳人口)	人	423,004	425,384	427,921

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
歯科保健センター管理運営費	千円	89,421	76,276	76,411
活動指標分析結果	当年度は一時都合に伴う退職金の増額があったため、例年を上回る運営費を支出した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
歯科保健センター休日診療日数	日	74	73	73	平成32年度	73
歯科保健センター障がい者診療日数	日	120	124	116	平成32年度	116
成果指標分析結果	休日診療、障がい者診療共に一年を通じて計画どおり実施できたことで地域における歯科診療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター事業特別会計 繰出事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成7年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	繰出金に変動はあるものの、継続した支援を行っている。
目的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	加古川歯科保健センターの健全な運営を支援し、口腔衛生の向上と、休日及び障がい者診療の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川歯科保健センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のため の手段・手法	口腔衛生の向上と、休日及び障がい者診療の充実を図るために設立した加古川歯科保健センターの健全な運営に資するための加古川市負担分を特別会計に繰り出す。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	31,669 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	31,669 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	31,669 千円	28,252 千円	25,288 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・ 効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	休日における救急医療体制や障がい者診療の支援は、必要不可欠なものであり、その財政基盤である歯科保健センター事業特別会計に負担し、安定した運営を維持することは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター事業特別会計 繰出事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
歯科保健センター事業特別会計歳出	千円	93,756	82,702	82,712

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
歯科保健センター事業特別会計繰出金	千円	31,669	28,252	25,288
活動指標分析結果	歯科保健センターの安定的な運営に寄与するために必要な繰出金を支出した。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目標値
歯科保健センター休日診療日数	日	74	73	73	平成32年度	73
歯科保健センター障がい者診療日数	日	120	124	116	平成32年度	120
成果指標分析結果	休日診療、障がい者診療共に一年を通じて計画どおり実施できたことで地域における歯科診療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	地方独立行政法人運営費負担金支出事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成23年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	地方独立行政法人法第85条、地方公営企業繰出基準等

【事業概要】

現状と課題	第2期中期計画(平成28年度～32年度)のもと運営費負担金を支出していく予定だが、今後、国の診療報酬改定による影響や、市民病院機構が地域医療を充実させるため実施する事業に対しても、柔軟に対応していく必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	公的病院として救急医療や高度医療を安定的に提供する。
対象 ※誰、何に対して	地方独立行政法人加古川市民病院機構
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	地方公営企業繰出基準に基づき、施設整備や救急医療等に係る不採算経費について運営費負担金を支出する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	1,694,876 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,694,876 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	005 地方独立行政法人運営費負担金支出事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	1,694,876 千円	1,729,227 千円	2,848,008 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>平成28年7月に開院した加古川中央市民病院は、現在順調に経営しており、自立経営が図られることで運営費負担金支出額の圧縮は可能と考えられるが、公的病院として救急医療や高度医療等を安定的に提供できる体制を維持するためには、不採算経費等に対する運営費負担金の支出は必要であると考えます。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	地方独立行政法人運営費負担金 支出事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
地方独立行政法人加古川市民病院機構	団体	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
運営費負担金支出率	%	100	100	100
出資金額	千円	0	0	1,000,000
運営費負担金支出額	千円	1,694,876	1,729,227	1,848,008
活動指標分析結果	法人の経営健全化を図り、公的病院として安定した医療を提供するため、法人に対し確実に運営費負担金を支出した。なお、当年度は、出資の必要性はなかった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
市民病院開院日数（2次救急医療施設）	日	365	365	365	平成31年度	365
入院受入体制確保日数（高度医療）	日	365	365	365	平成31年度	365
医師数	人	232	219	190	平成31年度	232
成果指標分析結果	不採算経費や高度医療機器等に対する運営費負担金の支出により、法人の経営健全化や設備の高度化が図られ、救急医療及び高度医療を安定的に提供できる体制が確保できている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	地方独立行政法人評価委員会運営事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成22年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川市民病院機構評価委員会条例、地方独立行政法人法第11条

【事業概要】

現状と課題	病院事業については、市が設立した法人に事業を担わせることで、より効果的・効率的なサービスの提供を目指している。専門的知識や豊富な経験を持つ評価委員からの意見をもらうことで、中期目標等の達成や透明性の高い法人運営を確保する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地方独立行政法人法第11条に基づき市長の附属機関として設置された評価委員会の運営について、事務局として補助する。
対象 ※誰、何に対して	地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市が法人に対する適正な決定を行えるよう、地方独立行政法人法等で定められている地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会の所掌事務(業務実績評価への意見など)について、委員会での審議を活性化させ、様々な視点から意見をもらう。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	378千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	378千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	006 地方独立行政法人評価委員会運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	378千円	474千円	634千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	法定のため事業実施は必須であり、また、委員会開催の前に個々の委員へ事前に資料の説明を行うことは、委員会での審議を活性化するうえで有効と考えられる。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	地方独立行政法人評価委員会運営事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会委員	人	5	4	5

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
評価委員会委員への説明実施回数	回	15	16	20
評価委員会開催回数	回	3	4	4
活動指標分析結果	当年度は法改正により評価者が評価委員会から市長に変更となり、試行的に開催回数を減らした。なお、今回も全委員へ事前説明を行っている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
年度評価に対する評価委員会意見数	件	88	86	72	平成31年度	70
年度評価に対する評価委員会開催回数	回	2	3	3	平成31年度	2
成果指標分析結果	当年度も法人の業務実績に対して、事前に委員へ書面での意見を求めつつ審議を行ったので、多くの意見を引き出すことができた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	二次救急医療事業（一般会計）	部局名	福祉部
		課（室）名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和39年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	当番病院の交代はあるものの365日体制の運営を維持している。
目的 ※対象（誰・何）をどのような状態にしたいのか	容態が悪くなった患者の二次（後送）救急医療体制を確保することで、重症化の防止及び生命の維持に繋げる。
対象 ※誰、何に対して	二次（後送）救急措置の必要がある住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の二次（後送）救急を円滑に行うため、関係医療機関に対し、二次救急医療の管理・運営に対する支援を行う。

【コスト】

	平成30年度（決算見込）	
事業費合計	33,640 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	11,100 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	22,540 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	015 救急医療事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算見込）	平成29年度（決算）	平成28年度（決算）
事業費合計	33,640 千円	33,458 千円	33,712 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	二次救急医療体制の維持は必要不可欠なものであり、支援を行うことは、住民が安心して暮らす基盤整備につながることから、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	二次救急医療事業（一般会計）	部局名	福祉部
		課（室）名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市人口（10／1付住民基本台帳人口）	人	265,897	267,255	268,643

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
内科及び外科の休日昼間二次救急当番医療機関数	機関	10	10	11
小児科二次救急当番医療機関数	機関	4	4	5
活動指標分析結果	平成28年7月に東市民病院と西市民病院が統合して中央市民病院になって以降、両指標の当番医療機関数に変動はない。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
内科及び外科の休日昼間二次救急診療待機日数	日	73	72	72	平成32年度	72
小児科二次救急診療待機日数	日	365	365	365	平成32年度	365
成果指標分析結果	1年を通して二次救急医療体制を確保できた。小児科二次救急体制については、4医療機関と少ないながらも365日の医療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	二次救急医療事業（夜間急病医療事業特別会計）	部局名	福祉部
		課（室）名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和55年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	当番病院の交代はあるものの365日の輪番制を維持している。
目的 ※対象（誰・何）をどのような状態にしたいのか	夜間帯における救急医療体制の充実により、住民の重症化の防止及び生命の維持を図る。
対象 ※誰、何に対して	2市2町（加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町）の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の夜間帯における二次救急の診療体制を確保するため、二次救急医療の管理・運営に対する費用の一部を負担する。

【コスト】

	平成30年度（決算見込）	
事業費合計	75,482 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	75,482 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	12 夜間急病医療事業特別会計
款	01 夜間急病医療事業費
項	01 夜間急病医療事業費
目	01 夜間急病医療事業費
細目	010 夜間急病医療事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算見込）	平成29年度（決算）	平成28年度（決算）
事業費合計	75,482 千円	75,605 千円	75,423 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	夜間帯における二次救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、二次救急医療の管理、運営を支援することは、住民が安心して暮らす基盤整備につながることから、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	二次救急医療事業（夜間急病医療事業特別会計）	部局名	福祉部
		課（室）名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
夜間急病医療事業特別会計歳出	千円	298,832	289,701	282,566

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
内科及び外科の夜間二次救急当番医療機関数	機関	10	10	12
活動指標分析結果	平成28年7月に東市民病院、西市民病院が統合して中央市民病院になって以降、当番医療機関数は10機関と変動はない。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
内科及び外科の夜間二次救急診療待機日数	日	365	365	365	平成32年度	365
成果指標分析結果	1年を通して待機医療機関による輪番制を維持したことで二次（後送）救急医療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病センター管理運営事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和55年度 ~ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川夜間急病センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	平成18年度から指定管理者制度を導入し、東播臨海救急医療協会を指定管理者とし、運営を委託している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川夜間急病センターの健全な運営を支援し、夜間帯における救急医療体制の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川夜間急病センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の夜間帯における一次救急を円滑に行うため、東播臨海救急医療協会に対し、加古川夜間急病センターの管理及び運営に対する業務委託を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	39,134 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	39,134 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	12 夜間急病医療事業特別会計
款	01 夜間急病医療事業費
項	01 夜間急病医療事業費
目	01 夜間急病医療事業費
細目	010 夜間急病医療事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	39,134 千円	38,207 千円	34,011 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	夜間帯における救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、加古川夜間急病センターの管理、運営については、高砂市、稲美町、播磨町から事務委託を加古川市は受けているため、事業の実施は妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病センター管理運営事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町の人口 (10/1付住民基本台帳人口)	人	423,004	425,384	427,921

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
夜間急病センター管理運営費	千円	39,134	37,643	34,011
活動指標分析結果	当年度は、抗インフルエンザ処方(医薬材料費)を1日分から5日分に増やしたことなどにより管理運営費が増えた。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目標値
夜間急病センター診療日数	日	365	365	365	平成32年度	365
成果指標分析結果	一年を通じて夜間急病センターの診療を実施できたことで夜間帯における救急医療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病医療事業特別会計繰出事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和55年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	繰出金に変動はあるものの、継続した支援を行っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川夜間急病センターの健全な運営を支援し、夜間帯における救急医療体制の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川夜間急病センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	夜間帯における救急医療体制の充実を図るために設立した加古川夜間急病センターの健全な運営に資するための加古川市負担分を特別会計に繰り出す。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	112,252 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	112,252 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	112,252 千円	96,426 千円	77,910 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	夜間帯における救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、その財政基盤である夜間急病医療事業特別会計に負担し、安定した運営を維持することは、行政が行う事業として妥当なものと考えます。また、医師確保の観点から、休日昼間の診療の定点化に向けた調整を関係機関と行いつつ、老朽化した施設の移転整備を進める必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病医療事業特別会計繰出事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
夜間急病医療事業特別会計歳出	千円	298,832	289,701	282,566

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
夜間急病医療事業特別会計繰出金	千円	112,252	96,426	77,910
活動指標分析結果	一次救急医療定点化事業の新規開始により繰出金を増額した。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目標値
夜間急病センター診療日数	日	365	365	365	平成32年度	365
成果指標分析結果	一年を通じて夜間急病センターの診療を実施できたことで夜間帯における救急医療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	一次救急医療定点化事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成30年度 ～ 平成34年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	医師の高齢化や不足は進んでおり、夜間急病センターは建設から約40年を経過し老朽化が著しい。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	(仮称)休日・夜間急病センターにおいて、医療を安全に提供できる環境を整備する。
対象 ※誰、何に対して	(仮称)休日・夜間急病センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の休日・夜間帯における一次救急医療の定点化を図るため、新施設を整備する。また、老朽化著しい現・夜間急病センターの移転及び解体を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	12,823 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	12,823 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	12 夜間急病医療事業特別会計
款	01 夜間急病医療事業費
項	01 夜間急病医療事業費
目	01 夜間急病医療事業費
細目	020 一次救急医療定点化事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	12,823 千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	休日昼間帯及び全日夜間帯における救急医療体制の充実は必要不可欠なものであり、早期に定点化を行い、安心かつ安全な医療環境を整えることは行政が行う事業としては必要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	一次救急医療定点化事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
施設数	施設	1		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
休日・夜間急病センター施設整備費	千円	12,823		
活動指標分析結果	一次救急定点化の(仮称)休日・夜間急病センターの施設整備費である。当年度は新施設の基本設計委託費が主である。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
整備率	%	1.14			平成34年度	100
成果指標分析結果	当年度の整備は計画的に進んだ。当年度は現在の事業内容を反映した成果物(基本設計書)の納品があった。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター施設整備事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成7年度 ～ 永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川歯科保健センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	設立から20年が経過しており、施設や診療チェア等の高額な備品の老朽化による修繕が増加傾向にある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川歯科保健センターの健全な運営を支援し、口腔衛生の向上と、休日及び障がい者診療の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川歯科保健センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	休日及び障がい者診療を円滑に行うため、加古川歯科保健センターの施設、設備及び診療機器の整備を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	4,335千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	4,335千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	13 歯科保健センター事業特別会計
款	01 歯科保健センター事業費
項	01 歯科保健センター事業費
目	01 歯科保健センター事業費
細目	005 歯科保健センター施設整備事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	4,335千円	142千円	17千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	休日における救急医療体制や障がい者診療の支援は、必要不可欠なものであり、加古川歯科保健センターの設備や診療機器等の整備を行い、安心かつ安全な診療環境を整えることは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター施設整備事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
施設数	施設	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
歯科保健センター施設整備費	千円	4,335	142	17
活動指標分析結果	診療機器の更新については、整備計画に基づき順次行っているため、年度間での変動が大きい傾向にある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
歯科保健センター休日診療日数	日	74	73	73	平成32年度	73
歯科保健センター障がい者診療日数	日	120	124	116	平成32年度	116
成果指標分析結果	休日診療、障がい者診療共に一年を通じて計画どおり実施できたことで地域における歯科診療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病センター施設整備事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和55年度 ～ 永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川夜間急病センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	設立から40年近くが経過しており、施設や備品の老朽化が著しく、頻繁な修繕等が必要となっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川夜間急病センターにおいて、医療を安全に提供できる環境を整備する。
対象 ※誰、何に対して	加古川夜間急病センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の夜間帯における一次救急を円滑に行うため、加古川夜間急病センターの施設、設備及び診療機器の整備を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	1,663 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,663 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	12 夜間急病医療事業特別会計
款	01 夜間急病医療事業費
項	01 夜間急病医療事業費
目	01 夜間急病医療事業費
細目	005 夜間急病センター施設整備事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	1,663 千円	281 千円	864 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	夜間帯における救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、加古川夜間急病センターの設備や診療機器等の整備を行い、安心かつ安全な診療環境を整えることは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病センター施設整備事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
施設数	施設	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
夜間急病センター施設整備費	千円	1,663	281	864
活動指標分析結果	医療機器の入れ替え等により、年度間での変動が大きい傾向にある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
夜間急病センター診療日数	日	365	365	365	平成32年度	365
成果指標分析結果	一年を通じて夜間急病センターの診療を実施できたことで夜間帯における救急医療体制を確保できた。					